

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 27日

事業所名

Plus+days堺校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	行う指導によって使い分けしている	・児童数が多い時は、マット等使用し間仕切りするようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%	所々、段差が気になる	・段差には目印テープを張るなど検討したいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	ホームページで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	PAスタッフの機会が少ない	・定期的に研修参加のお声かけはしています。今年度は内部研修も開催したいと思います。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	67%	33%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	83%	17%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	0%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	狙いを定め、内容や援助を立案している	・子どもたち個々の目標・目的が共有できていない部分がある為、今後は全員が目標・目的が把握出来るようにしたいと思います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	50%	50%	集団活動の際は細かくチェックしている	・当日勤務いただくPAさん含め、必ず説明をする様にしています。
	18	50%	50%	毎日ではできていない	・職員は当日または、翌日午前中に必ず出来ているが、PAさんとは出来ていない為検討したいと思えます
	19	100%	0%	ファイルにまとめたり、連絡帳の写しを残したりしている。	・必ず当日の記録(子どもたちの変化等も)はとっています。出勤していないPAさん見ることが出来るようにしています。
	20	100%	0%		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	67%	33%	場合によってはより相応しい人がいけなかつたりする。	・なるべく全ての職員に参画してもらいたいと思えます。
	22	17%	83%		
	23	17%	83%	該当児童なし	・今後あれば対応したい
	24	17%	83%	該当児童なし	・今後あれば対応したい
	25	50%	50%		
	26	50%	50%		
	27	33%	67%	他とのかかわりがあまりない印象	・児童発達支援事業所とは連携をとるようにしていますが、研修は受けれていません。今後参加出来るようにしたいと思います。
	28	33%	67%	他とのかかわりがあまりない印象	子ども園や幼稚園との交流はなかなか難しく出来ていません。今年度は、障がいのない児童との交流の機会をつくりたいと思えます
	29	17%	83%		
	30	83%	17%	送迎時など、少しの時間にも伝え合うようにしている	・園送迎が多く、直接話す機会が少ないので、なるべく土曜日ご利用いただいた時にお話し聞くようにしています。
31	50%	50%			
32	83%	17%			
33	83%	17%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	紙媒体の配布、SNS等の発信、共に行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%	地域とのかかわりは少ない	・地域との交流は出来ていないので、近隣の方との交流機会を検討したいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	67%	33%	定期的に確認すべき	・定期的には出来ていないので、今年度は保護者会開催時等実施肢体と思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練、防災訓練を定期的に行い、ふりかえる	・避難訓練は、年2回開催していません。子どもの利用回数が少な児童やPAさんなど出来ていない方への周知の徹底を行いたいと思います
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	67%	33%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	原因を考え、具体的な対策や改善をし、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	83%	17%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。